

環境施設視察研修会

9月2日（金）の電力中央研究所環境科学研究所（千葉県我孫子市）と日立セメント（株）神立資源リサイクルセンター（茨城県土浦市）の環境施設視察研修会は、定員まで若干残数があります。申込はお早めに。（詳細は11面）

環境施設視察研修会 参加者募集

電力中央研究所我孫子の環境科学研究所、日立セメントの神立資源リサイクルセンターを視察し、環境技術の進歩の状況を知り、エコ生活の実践と啓発活動の一助に資する目的の研修です。ご参加をお待ちしております。

- 日時 2016年9月2日（金） 雨天決行
- 参加費 3000円
※併各自持参（守谷サービスエリアで昼食）
- 研修対象者 かわごえ環境ネット会員
個人・家族、民間団体の活動者・家族、事業者の社員・家族、行政の職員
- 募集人数 28人 先着受付順 受付開始7月11日（月）10:00～
- 申込先 かわごえ環境ネット 窓口 ☎：049-225-6729
〒285-0822 茨城 049-242-4322
- 行程 7時45分 川越駅西口 ウェスタ川越前集合
8時00分 出発 途中休憩あり（弁当購入可）
10時00分 電力中央研究所我孫子地区 到着
環境科学・バイオテクノロジーなどを視察
12時30分 守谷サービスエリアで昼食
14時30分 日立セメント 神立リサイクルセンター
18時00分 川越駅西口 ウェスタ川越前 到着
※交通事情により遅れる場合あり



日立セメント 神立資源リサイクルセンター バイオプラント
茨城県土浦市東中貫町6-8 TEL0298-32-3300
地元の家庭系生ごみや食品廃棄物のバイオマス資源をメタン発酵・発酵堆肥化によりバイオガスエネルギーとたい肥にリサイクルする施設、エコプラントと連携して、バイオガス・熱エネルギーの効率的利用を図れ、廃棄物の循環に寄与する食品リサイクル法に対応した施設です。

電力中央研究所 我孫子地区研究施設
千葉県我孫子市我孫子1-6-4 TEL04-7182-118
電力中央研究所環境科学研究所は、大気・河川・海洋・土壌・生態系・バイオテクノロジー等の幅広い地球規模の環境問題の解決を目指して研究、調査を行っている。必見の研究施設です。

かわごえ環境ネット 社会環境部会

事務局 川越市環境部環境政策課 電話 049-224-5866

「エコプロダクツ川越 2016」 来場御礼

7月24日（日）に開催されたエコプロダクツ川越 2016。かわごえ環境ネットのブースにもたくさんの方にご来場いただきました。ありがとうございました。（詳細は5～6面）



目次

コラム	私のエコ体験（2）「分かち合い 持続可能な幸せな社会に」	2-3
報告	かわごえ環境ネットの活動（3題）	4-6
	会員・流域の活動（3題）	6-8
	理事会・専門委員会（5題）	9-10
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・後援・関連行事	11-12
	会員・関係団体の主催・関連行事	12-14
	広報委員会からのおしらせ	14-15
	イベントカレンダー（8月14日～10月8日）	16

【コラム】私のエコ体験（２）「分かち合い 持続可能な幸せな社会に」



講演会スタッフ

7月3日（日）「みんなで分かち合うしあわせな生きかた」講演会を開催しました。

講師は、私達 NPO 法人ネットワーク『地球村』代表 高木善之氏。「この生き方を目指しています」とおっしゃる柔道ロサンゼルス五輪金メダリストの山下泰裕さん、元全日本サッカー監督の岡田武史さんのコメントを戴き「生き方」の講演会を東京・墨田区の会場で、120名（目標は200名）の参加がありました。入会・書籍・サインコーナー多く、成功でした。

川越から墨田区の会場まではちょっと遠いと思いましたが、この生き方の講演会は聴いてほしいと思い、大切な方にお声かけさせていただき、私のつながりで7名の参加。

私が高木善之氏の講演会に参加したのは、2000年5月11日。「美しい地球を子ども達に」という環境講演会でした。すでに合成洗剤による水質汚染を知り、石鹼生活に切り替えお風呂の残り湯を使っただけの生活20年。生ごみ堆肥にしての家庭菜園10年以上。エアコンなし、1台のテレビで一家団らの生活。講演会は私の提案を学校で水を大切にすることを進めてくださる校長先生からの紹介でした。私はそのころ、環境問題どころではない人間関係に悩んでいました。日本や世界の抱える問題を半分くらい聴いたところでその人間関係の悩みが解決してしまったのです。根本からスッキリ。

そして、環境問題は世界で苦しい生活をしている人々の命に関わるということをおぼえていた自分に気づき、今まで以上に真剣に取り組



高階南公民館コミュニティースペースにて

むことを決めました。

両親・祖父母・叔母・姉弟の大家族で暮らした幼いころのふるさとでの思い出がつぎつぎと浮かび涙が止まりませんでした。

祖母と小川で捕まえたドジョウ、叔父たちの仕事の合間に仕掛けにかかったウナギを母が料理して、みんなで食卓を囲んだこと。夏の夕食後、うちわを持ってホテル探しに行ったこと。農繁期の田植えは小学校が休みになり、親戚は泊りでご近所の人たちも手伝いに来てくれてにぎやかな楽しい日々でした。稲刈り・ハンデ掛けは小学生の私達も手伝った。テレビは祖母の好きな相撲を前の家で見せていただいた。みんなが助け合い、分かち合い物はなくても幸せだったあのころ。

私のふるすとは、静岡県浜岡原発から約30kmと近かったこともあり、私自身も幼い日から12歳まで10年以上定期的な検査をうけ続けたことによる医療被爆がありました。（小学校の6年間は学校に来るレントゲン車の検査を受けていました）子供は大人の10倍、レントゲン車は医療機関の10倍の影響があるといわれています。病弱で幼い私には影響は大きかったです。

だから幼な児たちへの健康を考え、絶対原発に頼らない生活に替えましょう。

アンペア契約大きすぎませんか。電気製品を使うのを重ならないようにするだけでいいのです。見直してみてください。基本料金も下がり家計にもやさしいですよ。

居ない部屋、廊下の電気は消しました。延長

コードの長さを造り直し、プラグをとりはずし
やすい位置にしました。

年々暑さ増し、いよいよエアコンの購入を考
えました。もう工夫はしつくしたのか?!考えま
した。すだれは二重に、緑のカーテンを増やし、
屋内のカーテンは四重にして、さらに、材質を
変更。とりあえず今年もエアコン購入なしでの
生活、チャレンジしてみます。

洗濯機の使用回数を減らす工夫は、昨秋から
始めました。高木代表の講演を聴いて、足踏み
洗濯の素晴らしさを伝えてくれた社会部の仲間。
水だけでの洗濯でしたが、この方法は水も電気
の使用量も減る上に汚れ落ちが目で見え気持ち
いい。体にもいいので続けます。

家庭菜園を増やし完全無農薬・有機肥料の野
菜中心の食生活で体調いいです。車は重い荷物
と客の送迎。主人も自転車とバイク中心の生活。
しっかり汗をかき体は調子いい。

環境家計簿を記入し続け 17年目に入りました。
2人家族で昨年は電気 1,248kWh/年。ガス 4

6.9m³/年。水道 126m³/年。少しずつ、減らし続
けています。

電気の自由化が4月からスタートしたので、
自然エネルギーに契約しました。価格は変わら
ない。風力発電などに魅力を感じ、基金に協力
するもので価格は上がるかもしれないが、原
発・火力発電よりはいいと思います。

「3.11」の大震災、東京直下型地震が夏起き
たら、電気も水道も・・・現在の使用量より少
なくとも生きてゆける知恵と工夫を、地元公民
館と共催でほぼ毎月開催させていただいている。
『地球村』講演会で出逢った若い方たちの主催
で鶴ヶ島市、さいたま市、越谷市でも開催しま
した。一人でも多くの方が実践し、使用量を減
らしてくれることが、嬉しいです。

若い方たちは、実践し拡散してくれています。

みんなで分かち合い、持続可能な幸せな社会
にしていきたいと思います。

「ネットワーク「地球村」川越」(松岡寿賀子)



さいたま市での一コマ A



さいたま市での一コマ B

◆かわごえ環境ネット会員募集

かわごえ環境ネットでは、会員を随時募集しています。会員特典は次のようなものがあります。

- 1.月刊かわごえ環境ネット（毎月発行）、その他かわごえ環境ネットからのおしらせの郵送
- 2.イベント情報、会員情報の掲載（郵送添付、会員通信、ホームページ）
- 3.かわごえ環境ネットが主催する事業（ワークショップ、施設見学会、講演会、勉強会など）への出展や参加
- 4.総会、専門委員会への参加

年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。

詳細は、かわごえ環境ネット事務局に問い合わせるか、

Web サイト（<http://kawagoekankyo.net>、右の QR コード使用可）をご覧ください。



【報告】かわごえ環境ネットの活動

「キノコの観察会」報告

自然環境部会



よく見つけたねー

日時：2016年7月3日（日）9:00-12:00

講師：埼玉きのこ会（西田誠之氏、大久保彦氏）、
埼玉県生態系保護協会（稗島英憲氏）

参加者:34名、スタッフ5名

昨今はアニメなどの影響でキノコブームなのか、参加希望者がすぐに定員に達し、せっかくの機会です。キャンセル待ちの方にも参加していただきました。

今年の梅雨は雨量が少なく、水不足の事態になっていて、雑木林も乾燥気味です。その分キノコの発生も例年ほどの勢いはありませんでしたが、種類はけっこう出ていました。当日も晴れて市街地での気温は35℃まで上がりましたが、雑木林はクールスポットですので5℃くらいは低く感じます。

初めに講師からキノコについての説明です。キノコは植物でも動物でもなく菌類という生き物。地球史では植物が海から上陸した4億年前に植物について上陸した。自分では栄養を作れないので植物と共生している。菌類が繁殖のため、地上に出て子実体を作り胞子を飛ばす。その子実体をキノコという。



これ、なんですか？



採取したキノコ



テングタケ（毒）

キノコの本体は地中にある菌糸である。このような話を頭に入れて、フィールドに入ります。

林床からキノコがニョキニョキとのぞいています。オオツルタケ、ヤマドリタケモドキなどは大きいので目に付きます。「あつー!」「赤いのみっけー」と小さなお子さんの声が響きます。今はイグチの仲間のキノコが多いですが、夏以降次第にテングタケの仲間が隆盛になります。テングタケは下の写真のように傘にブツブツがありわかりやすいです。このブツブツが三角にとがるとテングタケダマシになります。キノコの名前は「ニセ〇〇」とか「〇〇モドキ」とか紛らわしいのが多く、それだけよく似ているということですね。

地上性のキノコは参加者から「食べられますか?」という質問が必ず出ますが、「野生のキノコはよほど確実なもの以外は食べない」が無難です。今、最強の毒キノコはカエンタケだそうで、触っただけでも皮膚がただれる、食べると死にいたる。真っ赤な炎のような形で、山にいくとあるそうです。

樹木についている硬いキノコにも関心が及びました。ヒイロタケが着いた枝は中に赤い菌糸が見え、スポンジのようにスカスカです。このようにして硬い樹木も分解されていきます。

終わりに採取したキノコを並べ、振り返ります。多くの参加者でしたが、3人の講師のがんばりもあり、最期まで集中力の切れない観察会で皆さんから「よかった!来年も。」との感想をいただきました。

この日、講師が確認したキノコの種類は150種でした。（賀登環）

夏の郊外クリーン活動



やすらぎの里に集合 小瀬理事長の挨拶



集めたごみを分別

かわごえ環境ネットは、市民、団体や事業者に参加を呼びかけ恒例の「夏の郊外クリーン活動」を7月17日（日）に行いました。

9時30分に「やすらぎのさと」に集合した参加者は25名、昨年は14名でした。5班に分かれ国道16号などの道路の清掃活動を開始、11時10分頃に「やすらぎのさと」に戻り、集めた



たばこの吸いがらを丹念に拾う



集めたごみを前に記念撮影

ごみの分別作業をしました。今年は幸いにして曇り空の中の活動のため、暑さに閉口することなくクリーン活動をおこなうことができました。

今年も武州ガス株式会社社員有志とご家族の方が8名も参加、初参加の小江戸大江戸トレーニングワールドの方が4名、ありがとうございました。（菊地三生）

「エコプロダクツ川越 2016」出展報告



1階会場にはたくさんの来場者が



女性連絡協議会、アクリルたわし、小型風力・小型太陽電池・手回し発電機



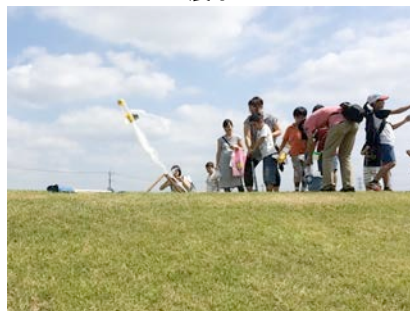
EMボカシつくり、生ごみ・ミミズの展示



伐採木の工作（東洋大学と共同）



ペットボトルロケット制作



ペットボトルロケット飛ばし実験

7月24日（日）つばさ館で開催の「エコプロダクツ川越 2016」が終わりました。来場者数は

1,609名、昨年度が約1,300名だったので、毎年確実に増えています。

かわごえ環境ネットと東洋大学合同のブースは2階のちょっとわかりにくい場所ですが、11時ごろにはあふれんばかり人が訪れてくれました。今年も多くの方の協力がありました。川越市女性団体連絡協議会、アクリルたわし、EMボカシづくり、小型風力・小型太陽電池・手回し発電機、生ごみ・ミミズの展示、環境家計簿、

伐採木の工作(ブンブンごま・ネームプレート)、ペットボトルロケット制作・飛ばし実験、初野建材工業(六価クロム浄化剤の会社)などの協力者の方々本当にありがとうございました。多岐に渡りすぎて何の団体なのか、わかってない方が多かったかな?が反省です。本会のパネルや協賛会社のパネル説明につく人も必要でした。来年の課題です。

(文：横山三枝子、写真：小瀬博之)

【報告】 会員・流域の活動

霞ヶ関西中学校・川の生き物調査と自然観察支援

南小畔親水クラブ



川に入って



金澤先生の講話



グループ別体験発表

今年も昨年同様に、金澤光先生(埼玉県環境科学国際センター・自然環境主任専門員)の出前講座として、荒川流域ネットワークの鈴木代表と、当クラブの6名で、霞ヶ関西中学校の1年生の調査支援を行いました。今年も天候が心配されましたが、幸い雨もやみ、川に入っただけの活動が出来ました。

日時：6月29日(水) 13:30-16:00(準備は10:00-)

場所：霞ヶ関西中学校体育館及び南小畔川

対象：中学1年生100名あまり(3クラス、3班に分かれて3か所に分散)

私達の役割

1) 草刈り

土手の草が50センチ余りに伸びており、川に入れないので事前に調査箇所(3か所)の草刈りを実施

2) 魚の捕獲

金澤先生より事前に川の魚を捕獲する様に依頼があり、10:00より捕獲開始、釣り名人・投

網名人等の活躍でオイカワ、カワムツ、タイリクバラタナゴ等70匹余りを捕獲。

3) 各班安全確保

各班に2名ずつ携わり、安全確保と捕獲指導

川に入っただけの調査は、未体験の生徒が大半で魚の確保、水遊び等大はしゃぎで遊んでおり、問題なく終了し、ホッとしました。体育館に戻ってから、4~5名位のグループで体験発表し、金澤さんの講評で終了しました。その際、埼玉県の木、花、魚、鳥等何かと聞かれ、なかなか答えられませんでした。特に魚と言われ、それがムサシトミヨであると知らされました。案外知らないことあるものだと思います。

残念だったのは、苦勞して捕獲した魚のことに触れる時間がなかったことでした。事前の計画不足であったと思われますので、来年は事前相談をして、このようなことのないようにしたいものだと思います。

(原嶋昇治)

川の再生地域交流会・日高市に参加して



河川敷のコンクリート遊歩道



グループディスカッション



結果発表

なぜこの交流会に参加したかといえば、2月6日に行われた「川の再生交流会」の分科会で、日高市の民間団体、リンクス高麗川が、工事内容を全く知らされていないまま、河川改良工事が進められたことに対して、齟齬を感じているとの報告があり、現地視察と、交流会があるということで参加しました。行政と民間団体の交流のあり方はとても重要な課題であります、その一端が掴めたような気がします。

交流会内容

日時：7月9日（土）10:00-16:00

場所：高麗地区の、高麗川河川敷の工事完了場所の見学及び高麗公民館での検討・発表会

参加者：埼玉県水環境課、埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼河連）、地元環境団体他約40名程度

概況

1) 見学

河川敷のコンクリート散策道は、自然維持の面からいえば違和感があり、反対するのは全く同感ですが、観光客誘致、地元の活性化、歩きやすさ、洪水対策等の面から判断するとあながち納得できないものではないような気がします。

2) いきさつ

日高市の高麗川が「川のまるごと再生プロジェクト」に選定され、諸々の工事の一環として遊歩道の整備工事が平成25年度から始められました。その状況が、昨年8月まで、民間には知らされていませんでした。昨年8月に判明し、その後、議論が交わされ、11月10日付けで埼河連から上田知事あてに、高麗川まるごと再生

事業計画（日高市分）の全面変更を求める文章が提出されました。内容は、景観を壊すコンクリート歩道は不要で、撤回を求めるものであるが、それらを踏まえて交流会が行われました。

3) 交流会

交流会はまず3班に分かれて、意見交換が行われ、その後発表会が行われました。

主な意見

1. 高麗川の日高市近辺の水質はAAクラスで、県内でも有数の清流である。これは今後とも大切に維持しなければならない。
 2. 下水道が完備されていないので先が心配だ。早急な下水道完備が必要だ。
 3. 日高市は、自然環境を守ることが大切で、官民足並みをそろえて取り組む必要がある。
 4. 何事も早い時期での行政と民間団体、市民等の意見交換による、同意を得る必要がある。
- その他、様々な意見交換がなされましたが、本件は、行政と民間の密なる連携が遅れていたことにあるようで、我々の身のまわりでも発生しうる課題かと思えます。

一つの参考事例として、勉強になりました。行政からは、民間への周知の必要性、民間からは行政への報告の必要性等を早い段階で吟味して、協働事業への推進等を図るようにすることが大切だと思いました。

（南小畔親水クラブ 原嶋昇治）

「人もコウノトリも住める地域づくり」をめざすいすみ市 かわごえ里山イニシアチブ



人もコウノトリも住める地域づくり



有機米モデル水田の見学



学校給食全量有機米

7月2日～3日に千葉県いすみ市で行われた「第4回自然と共生する里づくりシンポジウム2016」に参加した。(主催：自然と共生する里づくり連絡協議会、いすみ市、後援：国土交通省関東地方整備局、農林水産省関東農政局、環境省関東地方環境事務所、協力：NPO 法人民間稲作研究所)

いすみ市では、「人もコウノトリも住める地域づくり」をめざし、いすみ生物多様性戦略を打ち出し生物多様性豊かな地域づくりに取り組んでおり、このシンポジウムで4年目となる取り組みの成果が発表された。

この取り組みは、いすみ市長自らが旗振り役を務め、行政、国土交通省、農林水産省を始めとし、多くの農家の協力を得て生物多様性の取り組みで「環境」と「経済」という、相反する活動を両立させており大変感銘を受けた。

具体的には、多くの米生産農家が生物多様性農法による無農薬栽培を行い、行政側として将来を担う子供たちの学校給食に全量無農薬米を使う事が決定されたこと、いすみ市の慣行米のお米も価値が上がり1俵12,000円を切らない値段で、取引がされていること、今年の秋には40社を超えるお米の商談会がいすみ市で開催されることなどがある。

特に、世界の翼と言われるJALのファーストクラスにこの無農薬米が使われることが決定され、1俵36,000円で取引されるなど、生物多様性による活動が多く相乗効果をもたらしつつあることを実感した。

このように、いすみ市は2008年に「夷隅川流域生物多様性保全協議会」を設立し、2010年に「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」に加盟し、2012年にはいすみ市の豊かな自然環境と潜在的な地域資源を生かした地域振興・活性化を目指して、「自然と共生する里づくり連絡協議会」を立ち上げ、2015年から新たに地域経済振興関係団体も加わり、環境と経済の自立に向けた活動を行っている。

2014年から民間稲作研究所の協力を得て「いのち育む無農薬・有機稲作」を始め、その年にコウノトリが舞い降りて大きな話題となった。そして、4年目の取り組みとなる今年1月にもコウノトリの訪問を受けている。

懇親会では、いすみ市長と直接懇談する機会を得、市長は、「最初はみんなに馬鹿にされながら、もう落選確実だといわれながらも愚直に取り組んできたことがよかった。特に、1年目から数年間無農薬米作りに失敗し、苦しい中で民間稲作研究所の稲葉光國氏に出会ったことは一番大きかった。稲葉光國氏の農法で、効率的な無農薬栽培を拓けることができ、大きな成果につながった。」と語られた。

かわごえ里山イニシアチブでも稲葉氏の指導を受けこの農法をいち早くから取り組んでおり、我々もいすみ市に負けないように、小さな取り組みではあるがますます頑張らなくてはという思いを強くした。

(増田純一)

【報告】理事会・専門委員会

理事会

2016年度第5回理事会は、7月27日（水）10:30-12:00に福田ビル3階会議室で行われました。出席理事は10名でした。主な議事は次のとおりです。

- ①2月25日に開催される第15回かわごえ環境フォーラムについて報告するとともに、今後実施する協賛依頼への協力を理事に依頼しました。
- ②10月15・16日（土・日）に実施する「川越まつりクリーン活動」について検討しました。川越まつり協賛会に清掃ボランティア活動を登録することになります。

③9月1日に開催される第3回「川の景観づくり講演会」、10月2日（日）に開催される「2016アースデイ・イン・川越 立門前」の後援等名義使用許可申請を承認しました。

④会員の「環境カウンセラー」の登録に際しての活動内容証明について依頼があり、内容を承認しました。

⑤環境月間ポスターコンクールにおける「環境ネット賞」の選出について報告がありました。

（小瀬博之）

事業運営委員会

2016年度第4回事業運営委員会を7月27日（水）9:00-10:30に福田ビル3階会議室で行いました。出席者は7名でした。主な議題は次の通りです。

・7月24日（日）につばさ館で開催された「エコプロダクツ川越2016」は、1,609名の来場者があり、ネットの各ワークショップがにぎわっていたとの報告がありました。詳細は別記事で。

・7月17日（日）に「夏の郊外クリーン活動」が参加者25名で行われました。武州ガス（株）社員ボランティア8名が昨年に引き続き参加してくれました。

・10月15日（土）・16日（日）の「川越まつりクリーン活動」は前回報告の確認。観光課への登録、他の団体との活動場所のすみ分け、夜間の辻立ちでのごみ収集などを提案などがありま

した。

・第15回かわごえ環境フォーラムは、2月25日（土）講演者を原村政樹氏（映画監督、川越在住）に決定し、ウエスタ川越の多目的ホールでの開催とします。協賛企業や発表者の募集など9月に文面を作成し、アジェンダ報告もことから、行政にも働きかける事を確認しました。

・その他として、(仮称)かわごえアジェンダ21作成委員会報告 [次回会議は8月9日（火）15時から福田ビル3階で。終了後懇親会予定]や「川越の自然」の増刷希望の話、9月からのウエスタ講座「ECO LIFE デザイン～子どもと一緒に環境講座～」などが話されました。

（横山三枝子）

社会環境部会

社会環境部会7月例会は7月8日（金）福田ビル3階会議室において8名が出席し開催されました。

1.報告事項

板野代表から第4回理事会について、①エコプロダクツ川越2016への出展準備状況、②自然

環境部会では(仮称)川越市森林公園計画地での活動を「緑の都市賞」作品として応募する、③獨協大学学生から当会の活動について論文整理のため取材の申し入れがあり、協力することとした(横山副理事長・武田理事対応)、④市から「気温等観測調査」への協力について依頼が

あり、細部は6月25日号市広報に掲載される等の協議が行われたことが報告されました。

2.協議事項

①7月17日(日)の郊外美化活動は9時30分やすらぎのさとに集合。参加者は総数20数名、今後増える見込み。参加者の確認、保険、ゼッケン等の準備は渡辺氏が担当する。

②7月24日(日)のエコプロダクツ川越2016出展に当たり、前日10時から準備作業があるので、都合がつく方は支援を行う。

③9月2日(金)の環境施設見学については月刊紙郵送時に参加募集のチラシを同封して会員に送付した。受付は7月11日(月)から。

④環境講演会は11月5日(土)とし、会場確保する。博物館、ウェスタ川越等を候補として検討する。

⑤その他の活動として、南小畔親水クラブが10月下旬に環境政策課との協働委託事業でかわごえエコツアーを行う。かわごえアジェンダ21作成委員会の会合が7月19日及び8月9日に開催されるので関心のある方は参加をしてほしい等の意見交換がありました。

3.次回8月例会の進行は板野、月刊紙8月号への投稿者は松岡さんが担当します。

(社会環境部会 代表:板野徹、報告:浜尾春子)

自然環境部会

7月例会は8日(金)福田ビル3階にて9名の参加で開催された。

1.活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動 9:30~12:30

6/13(月)雨で中止 6/27(月)18名参加 県民参加モニタリング調査を実施

②7/5(火)池辺公園 7名参加 県民参加モニタリング調査を実施

③6/20(月)高階北小学校自然学習支援 3年生3クラス80名 「(仮称)川越市森林公園」計画地にて 自然環境部会から6名サポート

④6/17(金)キノコ勉強会 南文化会館(ジョイフル)7名参加 西田氏講師

⑤6/25(土) 田んぼの動物調査 福田地区田んぼ 一般募集30名、地元会員20名参加

⑥7/3(日)「キノコの観察会」 「(仮称)川越市森林公園」計画地 9:00~12:00 一般参加35名、スタッフ6名 本紙報告参照

以上のように6・7月も行事が多く、忙しくも充実した月間であった。小学校の自然学習サポートはどんな素材に出会えるかがポイントとなるので、下見も何度か必要だった。

2.協議事項

①県民参加モニタリング調査中間報告について

②会計予算の微調整

③「川越の自然を訪ねて」9月以降の執筆分担について (自然環境部会代表 賀登環)

かわごえアジェンダ21推進委員会

(仮称)かわごえアジェンダ21作成委員会の第5回を7月19日(火)17:30-19:30に川越市役所3A会議室で7名が出席、同第6回を8月9日(火)15:00-17:00に福田ビル3階会議室で10名が出席して開催しました。

スケジュールの確認、環境に配慮した行動を50を目標に抽出し、現在、第三次川越市環境基

本計画の5つの環境目標と11の大施策に沿って7の水環境の保全までに30項目を抽出しました。

審議結果については、Wiki (<http://wiki.kawagoe-kankyo.net/>)の「(仮称)かわごえアジェンダ21作成委員会第5回(20160719)」「(仮称)かわごえアジェンダ21作成委員会第6回(20160809)」をご覧ください。(委員長 小瀬博之)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・後援・関連行事

【トピック①・会員向け】環境施設視察研修会（9月2日）参加者募集 社会環境部会

定員 28 名まで若干残数がありますので、9 月 2 日に開催される会員向けの環境施設視察研修会のおしらせを改めていたします。

①開催日は 9 月 2 日（金）、7:45 ウェスタ川越前に集合しバスで出発します。

②見学する施設は、地球規模の環境問題について幅広い調査、研究を行っている（一財）電力中央研究所環境科学研究所（千葉県我孫子市）

と土浦市から排出されるごみを堆肥等に資源化している日立セメント（株）神立資源リサイクルセンター（茨城県土浦市）です。

③募集対象は、かわごえ環境ネット会員（個人・家族、民間団体の活動者・家族、事業者の社員・家族、行政の職員）、参加費は 1 人 3,000 円です。

④参加希望の方は次に申し込んで下さい。
板野 Tel.049-225-6729 渡辺 Tel.049-242-4322

【トピック②・後援】第 3 回川の景観づくり講演会

9 月 1 日（木）13:30 から、ウェスタ川越 3 階の男女共同参画推進施設研修室 2・3 号で、埼玉県景観審議会副会長の岡田智秀日本大学教授の講演を主に、「舟運・ふじみんの郷」など、川越から和光市までの流域 4 団体の活動報告も加えて、県民に親しまれる新河岸川の景観づくりの

イベントを行います。一昨年の朝霞市、昨年の川越市の講演会に続くまとめの講演会で、資料代 300 円。活発な意見交換が期待されます。新河岸川広域景観づくり連絡会の主催、西埼玉温暖化対策ネットワークと NPO 法人埼玉県まちづくりサポーター協議会が共催で参加します。

【トピック③・後援】「2016 アースデイ・イン・川越 立門前」10 月 2 日（日）開催

18 回目を迎えた「アースデイ・イン・川越」。現在の蓮馨寺を中心とした開催も 9 回目となり、10 月 2 日（日）に例年通りの参加団体で、国際交流と環境問題の啓発にあたり、地元の昭和のまちをにぎやかにする運動と合わせ、一層の充実が期待されています。

今年、埼玉県も力を入れている「食品ロス解消」の意識向上とあわせて、「フードバンク」による福祉活動とのコラボを、旧川越織物市場を会場に企画し、「もったいないから ありがと

うへ」を合言葉に、広く市民の参加を呼びかけます。

第 1 回から使われているプログラムのイラストは「地球を取り巻く子供の姿」を使っていますが、今回は「恵まれない子供への愛」をどう具体化するか、地元との話し合いが持たれました。また、例年通り、「世界平和・人類共存・地球環境・水と緑」に追加して「子らに“愛”」を加えた題での短歌・俳句・川柳・都々逸・標語を募集しています。

会合

◆広報委員会（2016 年 9 月度）

日時：9 月 7 日（水）16:00-17:00

場所：川越市役所本庁舎 5 階フリースペース（川越市元町 1-3-1）

*次回は 10 月 5 日（水）11:30-12:30 ウェスタ川越 2 階市民活動・情報コーナーで開催。

◆（仮称）かわごえアジェンダ 21 作成委員会（第 7 回）

日時：9 月 7 日（水）17:30-19:30

場所：川越市役所本庁舎 3 階 3A 会議室（未定）

●社会環境部会（2016 年 9 月度）

日時：9 月 9 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会 (2016年9月度)

日時：9月9日(金) 15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室

*両部会とも会員はどなたでも参加できます。
*両部会は、毎月第2金曜日 13:00-15:00, 15:00-17:00 連続開催(次回は10月14日(金) 同所)

◆事業運営委員会 (2016年度第6回)

日時：9月28日(水) 13:00-14:30

場所：川越市役所本庁舎3階3A会議室

*次回は10月19日(水) 13:00-14:30 川越市役

所分室3階B会議室

◆理事会 (2016年度第6回)

日時：9月28日(水) 14:30-16:00

場所：川越市役所本庁舎3階3A会議室

*次回は10月19日(水) 14:30-16:00 川越市役所分室3階B会議室

◆(仮称)かわごえアジェンダ21作成委員会 (第8回)

日時：9月28日(水) 16:30-18:30

場所：未定

自然環境部会主催事業

★(仮称)川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業 (毎月第2・第4月曜日)

日時：9月12日・9月26日(月) 9:30-12:30

※8月は活動休止

集合：9:30 川越南文化会館(ジョイフル)
(川越市今福 1295-2)

問い合わせ：賀登(049-234-9366)

★池辺公園定例活動

日時：9月6日(火) 9:00-12:00

場所：池辺公園(川越市池辺 1302)

問い合わせ：菅野

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子(Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

◎夜の鳴く虫観察会(公園と考える会共催)

日時：8月27日(土) 16:30-20:00

集合：公園南口休憩所

交通案内：東武東上線森林公園駅下車公園南口
行きバス

場所：国営武蔵丘陵森林公園(埼玉県比企郡滑川町山田 1920)

内容：夜の森林公園でクツワムシやスズムシ等の姿や鳴き声を楽しみませんか。解説は、内田

正吉さん、大塚豊さん、和田一郎さん、佐藤裕治さんです。

入園料(団体扱い)、参加費(無料)、懐中電灯、雨具持参、事前申し込み:(往復葉書)

送付先：355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田 1920

0 森林公園管理センター夜の鳴く虫観察会宛

詳細：NPO 武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
(谷津まで)

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子(Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

(年間)

①9月10日(土) 9:30~

②10月8日(土) 9:30~

場所：明見院(今福 677) 近く

内容：農作業(B級品のお土産付き)

会費：保険代 100円、クラブ員 1家族 1,000円

2016年度予定表

月	日	活動内容予定
9	10	キャベツ畑の片付け
10	8	大根畑の片付け
11	12	里芋の収穫 芋煮会(お椀、箸持参)
12	10	畑の片付け

みなみかぜ いきいき田んぼの会 (川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会)

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤 (Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2)

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪ 田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

8月19日(金)、23日(火)、26日(金)、30日(火)

地域交流センターに集合。農作業は近隣の田んぼです。

◎農作業

日時：毎週火・金曜日の午前中 (9:00-11:00)

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269)

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものにぎわいを取り戻す活動を行っています。

場所：名細公民館 (川越市小堤 662-1)

広く意見を求めるために非会員の方の参加を歓迎します。

◎例会

日時：8月27日(土) 16:00-18:30

東洋大学小瀬研究室 (こもれびの森・里山支援隊、地域活性化研究所)

問い合わせ：小瀬博之 (E-mail: komorebisatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-239-1532)

定常的に参加していただける方、ご近所の方、大歓迎です。初めての方もぜひご参加ください。

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

日時：8月22日(月) 8:30 集合-12:00, 9月18日(日) 8:30 集合-12:00, 12:45-15:00 (解散 16:00)

手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の下刈り、伐採、施業のための樹木調査など。

<共通情報> 集合場所：東洋大学川越キャンパス4号館こもれびの道側入口(川越市鯨井2100)

費用：無料、荒天中止。

持ち物：汚れてもよい服装(長袖、長ズボン)、靴、手袋(軍手等)、手ぬぐい・バンダナ(ヘルメットの下に身に付けます)、タオル、飲み物、弁当など、あれば自前の道具(手鋸、剪定バサミ)
申込・問い合わせ：開催日2日前までにご連絡ください。

*開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊 (<http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>)

*中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知 (<https://twitter.com/toyokomorebi/>)

*報告 Facebook (<https://www.facebook.com/komorebisatoyama/>)

◎「昭和の街の感謝祭 2016」ワークショップ

日時：9月10日(土) 11:00-19:00

場所：蓮馨寺(川越市連雀町7-1)

参加方法：当日直接会場へ

「昭和の街」の町並みの魅力を発見し、共有しましょう。参加者には当日会場で使用できるチケットを進呈します。

*詳細は東洋大学地域活性化研究所ホームページ (<http://www.toyo.ac.jp/site/irvs/>) に掲載します。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3木曜日

日時：8月18日(木) 13:30-15:00

9月6日(火)・15日(木) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：8月14日・9月11日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第4土曜日

日時：8月27日・9月24日(土) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9時より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(090-2521-5770)へご連絡ください。

①8月28日(日) 9:00-11:00

新河岸川中流部、貝塚橋右岸横集合、仙波大橋まで。精進橋横分別解散。

②9月25日(日) 9:00-11:00

新河岸川下流部、旭橋右岸と川崎橋左岸、上下流の河畔を清掃。旭橋左岸で解散。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一 (Tel.049-222-0957)、当日の携帯電話連絡 (Tel.080-6584-3010)

◎伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日)

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で12:00ごろ(小雨決行)。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・日よけ帽子。参加費：300円、高校生以下100円(保険料・資料代)

①8月14日(日) 10:00-12:00

空の色と沼からの風に秋を感じます。夏鳥が

少しずつ少なくなり、旅鳥のシギやチドリが渡りが見られるころです。毎年シマアジも、渡りの途中で休んでいきます。

②9月11日(日) 10:00-12:00

シギやチドリが渡りの季節です。アオアシシギ、オグロシギ、ツルシギなどが渡りの中継地として利用しています。シギたちの涼しげな声が水面を渡り聞こえてきます。モズの高鳴きも聞かれるころです。秋を感じましょう。

広報委員会からのお知らせ

●発行の遅れのおわび

本号は、発行日がいへん遅れてしまいました。これにより一部情報の期日が過ぎてしまい掲載できませんでした。この場を借りて、原稿を入稿していただいた方に対しておわび申し上げます。重要な事項はWebサイトでも掲載していきますので申し付けください。

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2016年9月号(No.119, 8月末発行予定)の掲載原稿は、8月15日(月)必着です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリング

リスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要ですので、未登録の方は事務局にお問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出してください。

●入稿に際してのお願い

発行が遅れていながらのお願いになりますが、編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

①所定のテンプレートに入力を

Word形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っていただくと効率的に編集ができます。不明な点はお問い合わせください。

②文字の入力方法を統一的に

英数字はすべて半角で入力をお願いします。「()」「:」は原則として全角を用いていますが、時刻表示の「:」は半角を用いています。

③図表や写真にはタイトルをつけて

読者が状況を把握するのに役立ちます。

④画像は添付ファイルで提出を

長辺を「800ピクセル」程度に大きさを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Wordに貼り付けなくてもキャプション(タイトル)がわかるようにしていただければレイアウトします。また、Word上でサイズを小さくしてしまうと、印刷に使えないようなサイズになってしまい対応に苦慮します。

⑤原稿の入稿期限(毎月15日)にご協力を

原稿が揃わないと効率よく作業できません。月末発行を行うため、ご協力ください。

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙PDFファイルが見られます。スマートフォンにも最適化されています。ご覧ください。(http://kawagoekankyo.net/news)

2.Twitterでかわごえ環境ネットをフォロー

かわごえ環境ネット Twitter (@kawagoekankyo)は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitterにユーザー登録してぜひフォローしてください。https://twitter.com/kawagoekankyo

3.Facebookページ「いいね！」してください

かわごえ環境ネットは、インターネットでも積極的に情報発信しています。ブログ、Twitterに続き、Facebookにもページがあります。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、メンバー間での情報共有にも活用できます。まずはFacebookに登録していなくてもご覧いただ

けますが、ぜひアカウント登録を。

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet



かわごえ環境ネット Twitter (Twitterに登録しなくても見られます)



かわごえ環境ネット Facebook ページ (Facebookに登録しなくても見られます)

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (8月14日~10月8日)

日	月	火	水	木	金	土
8/14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00伊佐沼でバードウォッチング	8/15 ○9月号投稿期限	8/16	8/17	8/18 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/19 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	8/20
8/21	8/22 ◎8:30 森林整備施業 (こもれびの森)	8/23 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	8/24	8/25	8/26 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	8/27 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 例会 (かわごえ里山イニシアチブ) ◎16:30 夜の鳴く虫観察会
8/28 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	8/29	8/30 ◎9:00 農作業 (みなみかぜ)	8/31	9/1 ★13:30 第3回「川の景観づくり」講演会	9/2 ●7:45 環境施設視察研修会	9/3
9/4	9/5	9/6 ◎13:30 まち美化啓発運動 ★9:00 池辺公園定例活動	9/7 ◆16:00 広報委員会 ◆17:30 かわごえアジェンダ21作成委員会	9/8	9/9 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	9/10 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎11:00「昭和の街の感謝祭」ワークショップ
9/11 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00伊佐沼でバードウォッチング	9/12 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	9/13	9/14	9/15 ◎13:30 まち美化啓発運動 ○10月号投稿期限	9/16	9/17
9/18 ◎8:30 森林整備施業 (こもれびの森)	9/19 敬老の日	9/20	9/21	9/22 秋分の日	9/23	9/24 ◎13:30 まち美化啓発運動
9/25 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	9/26 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	9/27	9/28 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会 ◆16:30 かわごえアジェンダ21作成委員会	9/29	9/30	10/1
10/2 ★10:00 アースデイ・イン・川越 立門前	10/3	10/4	10/5 ◆11:30 広報委員会	10/6	10/7	10/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
				★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2016年8月号 No.118

発行日 2016年8月13日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>